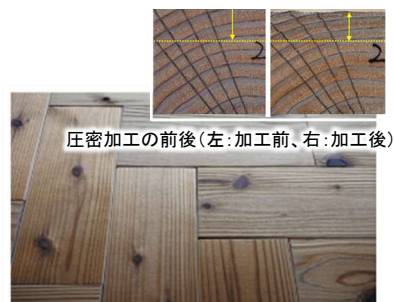


令和7年度の林業試験場のトピックス

- 1 令和7年度鳥取県林業試験場研究成果報告会を開催し、日頃の研究成果を情報発信しました(令和8年2月10日、とりぎん文化会館)。



- 2 木材利用研究室 桐林上席研究員が第24回市川賞及び知事表彰を受賞しました。
同氏が開発した、スギの木の風合いを残しつつ耐傷性能を付与できる「圧密化木材の製造方法」の開発や特許の取得が、我が国の木材産業の発展に寄与する新しい研究・技術開発として第24回市川賞を受賞し、その受賞功績が知事に認められたものです。



▲市川賞: 桐林上席研究員(右)

▲知事表彰: 桐林上席研究員(左)

▲圧密加工板による床施工(イメージ)

- 3 森林管理研究室 矢部上席研究員が、第59回近畿・中国・四国地区治山林道研究発表会で優秀賞(令和7年9月4日、愛媛県松山市で開催)、第60回林道研究発表会で優秀賞(令和7年10月2～3日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催)を受賞しました。
この研究発表は、これまで熟練者の経験や現地踏査に依存していたタワーヤーダの設置適地 GISを活用することで、計画段階で客観的に評価する手法を提案したものです。



▲矢部上席研究員(左から2番目)



▲矢部上席研究員(前列左)

- 4 木材利用研究室 佐々木主任研究員が、日本木材学会中国・四国支部第36回研究発表会で研究功績賞(令和7年9月19日、愛媛大学樟味キャンパスで開催)、を受賞しました。佐々木主任研究員にとって、この賞の受賞は今回で3回目となります。

受賞した研究は、木材を人工乾燥する際に生じる変形や製品の品質低下の要因の一つである「栈木(さんぎ)痕」の軽減に貢献するものです。



▲受賞を喜ぶ佐々木主任研究員



▲質問に答える佐々木主任研究員

- 5 森林管理研究室 柴田主任研究員が、令和7年度森林・林業交流研究発表会(令和8年2月3日から4日、近畿中国森林管理局で開催)で国立開発研究法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場長賞を受賞しました。

受賞対象となった研究発表は、鳥取県内で使用例の少なかった生分解性不織布コンテナポットの植栽試験を通じ、その使用が樹木の成長に対する悪影響を及ぼさないことを確認したものです。



▲受賞を喜ぶ柴田主任研究員



▲発表の様子(柴田主任研究員:右側)

- 6 林業試験場の試験内容の説明及び技術指導を通して、県内の児童及び学生に森林・林業の普及啓発を図りました。



▲鳥取市立宝木小学校の児童に「森林・林業」と「木材の加工」について説明しました(令和7年11月12日)。



▲鳥取県立倉吉農業高等学校の生徒の施設見学を受け入れました。(令和7年12月1日)。